

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	生活リハビリセンター雅			第三者評価受審年度	令和2年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況 (2年度末時点)	実施状況 年度末時点)	
法人や事業所の今後のビジョンについては幹部職員のみでなく全職員と共有して運営を進めているについて	中長期計画を策定し、計画的に運営を進めている。	予算編成の際は、経営層のみでなく一般職員も関わることで法人のビジョンを全職員で共有化が図れるように努めている。	職員自己評価の「事業所が目指していることを理解できているか」の項目ではほぼ全職員「そう思う」と回答しており、職員の理解が深まっている様子が伺える。		
職員採用の工夫や育成、離職防止に向けた取り組みに力を入れ組織力の向上に努めるについて	法人内各事業所にはパーソナルリーダー(育成責任者)を配置して現場職員の業務評価を効率よく実施できる体制を築いている。	人事評価もこれまでの年に一度の開催から半年ごとに評価をおこなう仕組みに変更し、的確な業務評価のもとで適材適所の人員配置に努め職員の定着率向上に繋げていく。	今年度は良質な人材確保に向けて、専門の研修を受講して求人の工夫を図り、人材の採用に繋げている。		
地域の関係性が希薄化しないよう今できる関係性がこれからも継続できることへの期待について	今年度は新型コロナウィルスの影響もあり軒並み地域行事は中止となっているが、これまで築いてきた連携が途切れないとオンライン会合を通して関係機関と情報交換を行ってきた。	新型コロナウィルスの収束後も地域との交流が図れるよう、オンライン会合を継続しておこなう。	特別支援学校や市の障がい者センターで開催されるお祭りへの参加などを通じて地域との交流が図れるよう取り組んでいたが、今年度はコロナ禍により活動は自粛している。		

※この様式は、「小平市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。